

5 廃棄物

5 廃棄物

5.1 廃棄物排出量の算出

(1) アスファルト・コンクリート塊

アスファルト・コンクリート塊は、主に既設道路の舗装を撤去することによって排出されます。

アスファルト・コンクリート塊排出量の算出方法は、以下のとおりです。工区別の算出結果は、表5.1-1に示すとおりです。

$$\text{アスファルト・コンクリート塊排出量 (m}^3\text{)} = \text{舗装面積 (m}^2\text{)} \times \text{舗装厚 (m)}$$

表 5.1-1 アスファルト・コンクリート塊の排出量

工 区	種 別	舗装面積 (m ²)	舗装厚 (m)	排出量 (m ³)
1 工区	車道	2,800	0.15	420
	歩道	200	0.04	8
	防塵舗装	17,900	0.04	716
2 工区	車道	4,000	0.15	600
	歩道	700	0.04	28
	防塵舗装	17,900	0.04	716
3 工区	車道	1,300	0.15	195
	歩道	300	0.04	12
	防塵舗装	9,700	0.04	388
合 計				3,083

(2) コンクリート塊

コンクリート塊は、主に既設道路の街渠、側溝等を撤去することによって排出されます。

コンクリート塊排出量の算出方法は、以下のとおりです。工区別の算出結果は、表5.1-2に示すとおりです。

$$\text{コンクリート塊排出量 (m}^3\text{)} = \text{街渠・側溝等延長 (m)} \times \text{1 m 当たりのコンクリート量 (m}^3\text{/m)}$$

表 5.1-2 コンクリート塊の排出量

工 区	種 別	街渠・側溝 延長 (m)	1m 当たりの コンクリート量 (m ³ /m)	排出量 (m ³)
1 工区	街渠	70	0.18	13
	L型側溝①	20	0.04	1
	L型側溝②	700	0.05	35
2 工区	街渠	80	0.18	14
	L型側溝①	300	0.04	12
	L型側溝②	100	0.05	5
3 工区	街渠	200	0.18	36
	L型側溝①	0	0.04	0
	L型側溝②	200	0.05	10
合 計				126

(3) 建設発生土

建設発生土の排出量は、現地盤の土砂を掘削する土量と盛土として利用する土量の差引きとして発生します。

建設発生土の排出量の算出方法は、以下のとおりです。工区別の算出結果は、表5.1-3に示すとおりです。

$$\text{建設発生土の排出量(m}^3\text{)} = \text{掘削量(m}^3\text{)} - \text{盛土量(m}^3\text{)}$$

表 5.1-3 建設発生土の排出量

工 区	掘削量(m ³)	盛土量(m ³)	建設発生土の 排出量(m ³)
1工区	11,900	0	11,900
2工区	12,400	0	12,400
3工区	9,700	0	9,700
合 計	34,000	0	34,000